

# 平成27年度 新宿駅周辺防災対策協議会の 活動予定及び西口地震防災訓練について

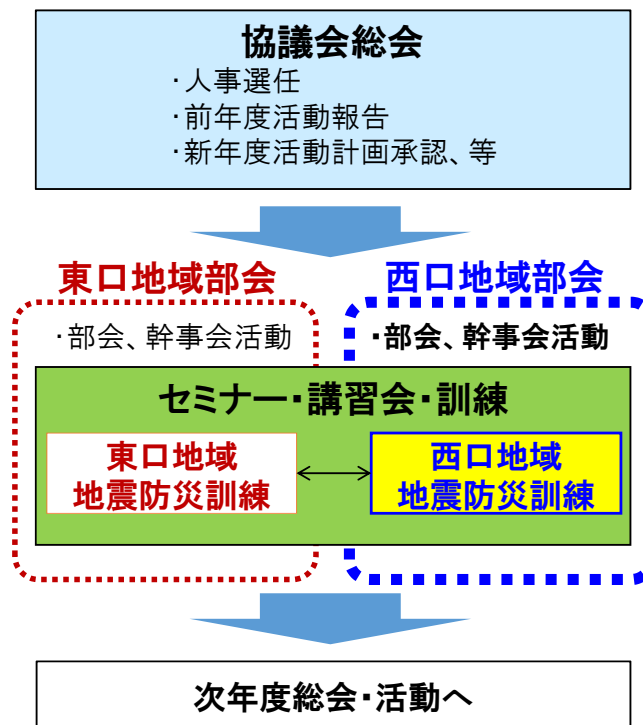
2015年7月2日

協議会事務局 鱒沢工学研究所  
鱒沢 曜

## 内容

1. 協議会年間活動の流れ
2. 平成27年度協議会活動スケジュール
3. セミナー、講習会等実施方針・計画
4. 訓練実施方針・西口訓練(案)

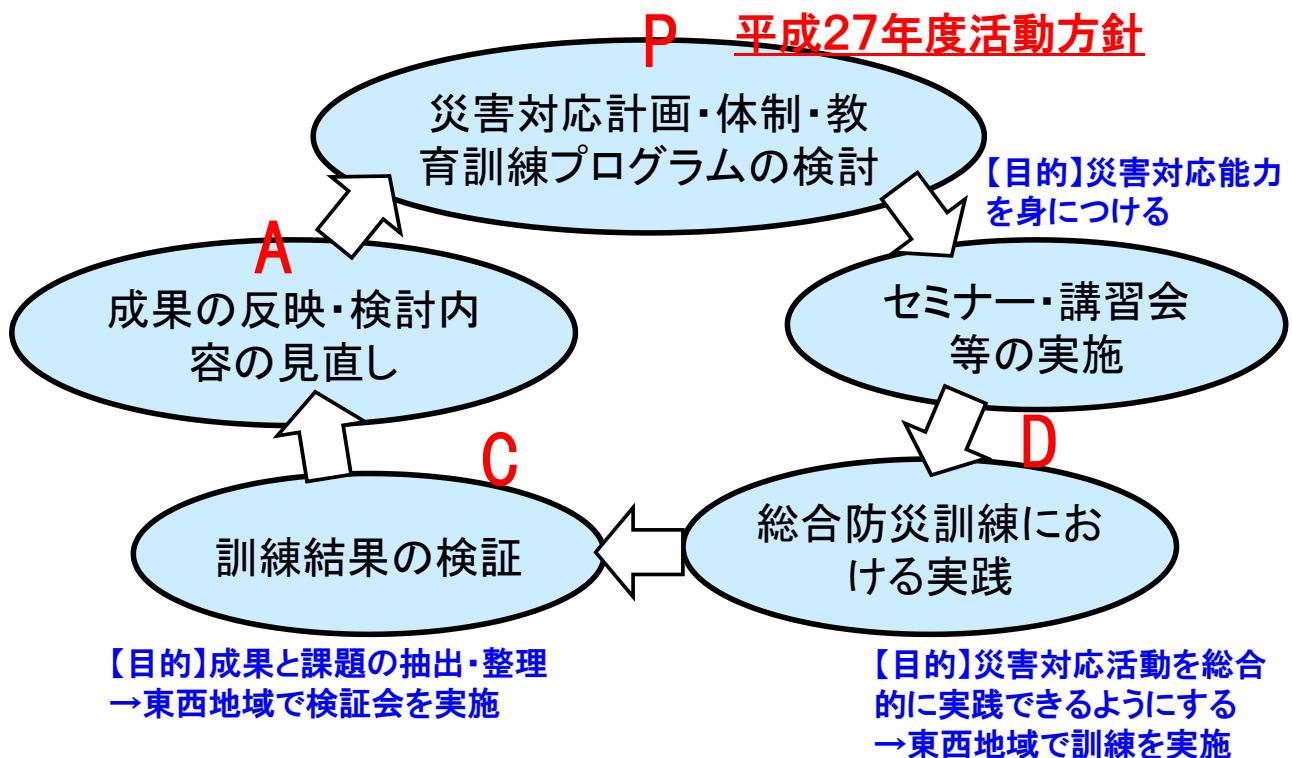
# 1. 協議会年間活動の流れ



平成27年度 新宿駅周辺防災対策協議会  
第1回西口地域部会 2015年7月2日

3

## 協議会の取組みを推進するPDCAサイクル



平成27年度 新宿駅周辺防災対策協議会  
第1回西口地域部会 2015年7月2日

4

## 2. 平成27年度協議会活動スケジュール

	協議会総会・部会・訓練	一般向けセミナー	講習会 (トレーニング)
2015年 5月	●5/20(水)平成27年度協議会総会		
6月	●6/26(金)第1回東口地域部会		
7月	●7/2(木)第1回西口地域部会	●7/2(木)第1回セミナー	
8月			
9月	○地域部会(訓練概要説明会)	●9/16(水)第2回セミナー	○建物被害対応 ●9/30(水)現地本部運営
10月	○地域部会(訓練参加者説明会)	●10/14(水)第3回セミナー	○自衛消防活動 ●10/15(木)応急救護講習会 ○トリアージ研修会
11月	●11/5(木)平成27年度協議会訓練	●11/2~6防災ウィーク	
12月	○地域部会(訓練検証会)	●12/9(水)第4回セミナー	
2016年 1月			
2月	○地域部会(活動報告)	○第5回セミナー	

## 3. セミナー、講習会等実施方針・計画

### ■セミナー(ナレッジ)

- 事業所勤務者全般を対象に地震災害や防災対策への関心を高め、協議会活動の裾野を広げる
  - 多くの一般市民が参加できるテーマを選定して実施する
- ※平成27年度は新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会との共催で実施します

### ■講習会(トレーニング)

- 災害対応活動を実践するために必要な知識や技術を身につける(総合防災訓練の効果を高める)
- 訓練内容や地域特性に応じて必要なテーマを選定して実施する

### ■防災ウィーク(訓練・イベント)

- 地域事業所勤務者や一般市民を対象に地震災害や防災対策への関心を高める
- 訓練を実施する週に合わせて様々な防災イベントを実施する

## 第1回セミナー概要

### 『大規模地震の発生時にわたしたちに何ができるのか？』

- 日時:2015年7月2日(木)15:30~17:30
- 会場:工学院大学新宿キャンパス 7階 A-0762教室

### お申し込み多数につき、追加開催決定！

- 日時:2015年8月6日(木)15:30~17:30
- 会場:工学院大学新宿キャンパス 3階 ア-バンテックホール
- 申込期限:7月23日(木)

## 次回以降のセミナー日程

- 第2回 9月16日(水)午後
  - テーマ:地震火災、地震動による建物被害
- 第3回 10月14日(水)午後
  - テーマ:地域の地震被害をイメージする
- 第4回 12月9日(水)午後
  - テーマ:帰宅困難者受入施設運営ゲーム
- 第5回 2016年2月頃
  - テーマ:什器等の固定、傷病者対応

※詳細については別途事務局よりご案内いたします

## 講習会(トレーニング)の予定

### ■建物被害対応の実践トレーニング

超高層ビルを想定した地震災害時における建物被害調査の一連の流れを理解するとともに、具体的な調査要領を学ぶ。

### ■現地本部運営の図上演習 9月30日(水)

地震災害時の現地本部における災害対応活動の一連の流れを理解するとともに、具体的な活動要領を学ぶ。

### ■自衛消防組織による震災対応活動講習

超高層ビルを想定した地震災害時における自衛消防活動の一連の流れと本部隊・地区隊の役割を理解するとともに、具体的な活動要領を学ぶ。

### ■応急救護講習会 10月15日(木)

地震災害時の応急救護に必要な知識と技術を座学と実践で学ぶ。

### ■医療従事者向けトリアージ研修会

地震災害時の医療救護に必要な知識と技術を座学と実践で学ぶ。

※新宿区医師会との共催を予定

※詳細については別途事務局よりご案内いたします。

平成27年度 新宿駅周辺防災対策協議会  
第1回西口地域部会 2015年7月2日

## 新宿防災ウィークの予定

### ■期間:2015年11月2日(月)~6日(金)

### ■会場:工学院大学新宿キャンパス、他

### ■11月2日(月) シンポジウム

□テーマ:建物とまちのモニタリング・災害対応

### ■11月4日(水) 未定

### ■11月5日(木) 協議会訓練

### ■11月6日(金) 未定

※詳細については別途事務局よりご案内いたします

平成27年度 新宿駅周辺防災対策協議会  
第1回西口地域部会 2015年7月2日

## 4. 訓練実施方針・西口訓練(案)

### ■名称:平成27年度新宿駅周辺防災対策協議会訓練

東口地域訓練:平成27年度新宿駅東口地域地震防災訓練

西口地域訓練:平成27年度新宿駅西口地域地震防災訓練

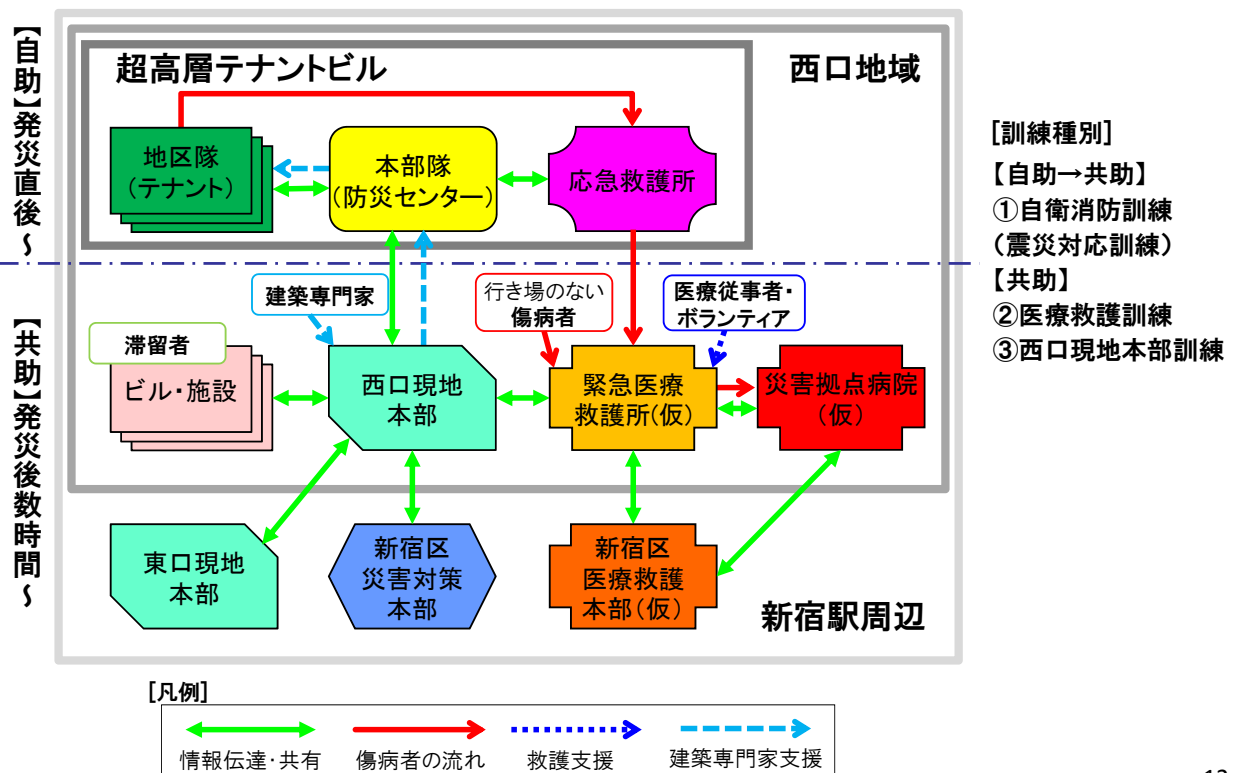
### ■実施日:2015年11月5日(木)午後

### ■西口訓練会場:工学院大学新宿キャンパス、他

### ■訓練の目的

講習会等で身につけた災害対応能力を活かし、事業所や地域で災害対応活動を総合的に実践できるようにする

## 平成27年度 西口地域地震防災訓練(案)



# 平成26年度新宿駅西口地域地震防災訓練 自衛消防訓練の振り返り

## Keep(継続したいこと、良かったこと)

### 【計画・運用】

- 1) 訓練計画が細部にわたっていた
- 2) 進行役がいたのでスムーズに行えた
- 3) シナリオがあったのでやりやすかった
- 4) この訓練自体は継続して実施した方が良い
- 5) 10月2日の応急救護講習会が役立った

### 【実施内容】

- 6) 大規模で多方面の人々が参加した実践的な訓練
- 7) 地域の方々との連携
- 8) 役割分担の重要性が実感できた
- 9) 隊長を中心としての動き
- 10) 地区隊内での情報共有
- 11) 救護所の設置、応急手当
- 12) 傷病者役をすることでどんな対応をしたら安心感を与えられるか知った
- 13) 全体として、どの程度でき、できなかったのかが分かった
- 14) 本部隊と地区隊が連携した訓練
- 15) 自衛消防隊の役割を確認できた
- 16) 本部訓練の重要性を再認識した
- 17) 地震発生時の大変さを実感した
- 18) 自社ビル以外の訓練に参加できた
- 19) いろいろな役割の経験は、自社でも災害時には役に立つ
- 20) 高層ビル内の様々な被害(火災、閉じ込め、室内被害)を想定した訓練経験
- 21) 前後半に分かれて2回訓練を行った
- 22) 講習会のビデオの振り返りは分かりやすくて良かった(他訓練の実施内容)

### 【ツール】

- 23) 各班別のフローチャート
- 24) セミナーに継続して出席していたため図面に被害を記入できた
- 25) iPadのツールはデータ送信が上手くいけば使える
- 26) 傷病者観察記録・情報連絡シート
- 27) 通信環境が生きている前提ならIT機器の使用は有効
- 28) ラジオとトランシーバーを使ったことでテナントから本部の様子がわかった

## Problem(問題点、不満)

### 【計画・運用】

- 1) 状況をイメージさせる説明が足りない
- 2) 説明会や講習でどう集まったらいいのかわからない
- 3) 訓練内容が上手く伝わっておらず円滑に動けなかった
- 4) 模範を見たい
- 5) 応急救護所の場所が分からず、搬送に手間取った
- 6) 全体的な段取りをもう少し良く
- 7) テナントからの被害情報を訓練シナリオに組込むべき(漏水、天井落下等)
- 8) 訓練の基本を明確にして実施する(地震対応、火災対応)
- 9) 実災害時の活動との整合性
- 10) 班編成が小さく、人手不足であった(実際には地区隊は全社員対応)
- 11) 応急救護の知識が無い方はそれ以外の班にいた方が良い
- 12) 講習会の時間が少し長く感じたので、もう少し短縮した方が良い
- 13) 道具の用意が不十分、各班の装備品を明確に

### 【実施内容】

- 14) 建物が使用可能か判断するのが難しい
- 15) 実際の災害時、個別に地区隊と連絡をとれるか?
- 16) 役割分担された相手方の人材が不明のため、得意分野を引き出せなかった
- 17) 役割分担が理解できなかった
- 18) 重要な情報がホワイトボードに記入しても膨大な情報に埋もれてしまう
- 19) 決められた役割のみに集中する傾向があった
- 20) きっちりとした班編成で動かなくても良い
- 21) シナリオ通りの動きでは面白くない
- 22) 隊長の力量によって進み具合や対応に違いが出てしまう
- 23) 適切な対応がわからないまま訓練をしていた
- 24) 訓練目的が明確になっていない
- 25) 情報が一度に来て捌ききれなかった、情報収集と整理は同時に出来ない
- 26) 普段行っていないことをいきなり実施した場面が多かった
- 27) 応急手当ての知識が不十分
- 28) 地区隊長の指示が明確になされるべき
- 29) 様々な被害の優先順位がよくわからなかった
- 30) どのように行動するか具体的に分からず、暇になってしまった

### 【ツール】

- 31) 建物チェックシートが複雑
- 32) チェックシートを様々な被害にも対応する必要がある
- 33) iPad関連で様々なトラブルが起きて、スムーズにできなかった
- 34) iPadは操作したこともない人が多い中、実際の災害時の利用は非現実的

## Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

### 【計画・運用】

- 1) テナントをイメージさせる情報および設定 (P1)
- 2) 説明や講習の際、各テナントで整列させる (P2)
- 3) 講習会の内容を検討する (P12)
- 4) 被害レベルと対応ルールの方向性をある程度決める (P9)
- 5) 消防計画の一つの訓練に位置付ける (K20)
- 6) 訓練目的を明確にする(体験なのか、問題点の確認なのか) (P24)
- 7) 何を検証したいのか説明する(ビル間連携、西口本部について) (P24)
- 8) 人数配分の見直し、地区隊の人数を厚くする (P10)
- 9) 主要ビルの本部隊間の連絡体制を整える(情報連絡訓練も行う) (K7)
- 10) 繰り返し訓練を実施 (K16)
- 11) 事前にわかりやすい資料の配布 (P27)

### 【実施内容】

- 12) ビデオによる自衛消防訓練の振り返り (K22)
- 13) 複数のビルの自衛消防隊で連携して訓練を行う (K6, K7)
- 14) 情報トリアージの訓練を行う (P18, P25)
- 15) 多様な状況を盛り込む (P19)
- 16) シナリオの中にサプライズを入れる (P21)
- 17) わかりやすい建物判定、やり方の明確化 (P14, P31)
- 18) 自衛消防本部隊長の教育 (P22)
- 19) モデル隊の演技を実施 (P4, P23, P26, P30)
- 20) 事前リハーサルの実施、セミナーの数を増やす(本番に向けての練習) (P23, P26, P30)

### 【ツール】

- 21) 書き込める情報整理シートをあらかじめ準備する (P18, P29)
- 22) 地区隊長のマニュアルの作成(消防署からの支援) (P28)
- 23) 自衛消防隊向けの「アクションカード」を作る (P29)
- 24) ビル対応のチェックシート・アクションカードを整理する (P30, P32)
- 25) 自社の応急救護備品の持参(可能な会社のみ) (P13)

# 平成26年度新宿駅西口地域地震防災訓練 医療救護訓練の振り返り

## Keep(継続したいこと、良かったこと)

### 【計画・運用】

- 1) ベストパフォーマンス賞
- 2) 活動状況の相互評価
- 3) 傷病者と救護者に分かれての訓練
- 4) 目的が明確で、積み重ねを更に有効にする訓練
- 5) 行政・事業所・大学・医療従事者が連携した取組み
- 6) ファシリテーターなどが手厚い
- 7) 事前講習の成果を生かして対応できた
- 8) 規模が小さくなった分指示が届きやすい
- 9) リアルな設定
- 10) 救護所の立ち上げからの開始が実際に即していた
- 11) 2次トリアージを医師・看護師のペアですることは良い
- 12) 傷病者役の設定、やり方の補助が具体的に演じやすかった
- 13) 専門家による解説・講評が分かりやすく、充実していた
- 14) 1度目の訓練を振り返ってから2度目の訓練を行えることが良かった、前半の失敗が後半改善できた(情報連絡班)

### 【実施内容】

- 15) 初参加のため新鮮であった
- 16) 医療従事者の指示に対応できた
- 17) 災害時の具体的なイメージを持つことができた
- 18) 災害時の救護・医療現場の混雑が体験できた
- 19) 重傷者より軽傷者の方が厄介だと分かった
- 20) 他の事業者と訓練を通じて打ち解けられる
- 21) 傷病者への対応を学べた
- 22) 傷病者側の立場・心情を理解できた
- 23) 初対面の方とのコミュニケーションの重要性が分かった
- 24) 事前訓練の成果が出た(特に搬送)
- 25) 振り返りの時間で反省点などを客観的に話し合える点
- 26) 応急手当や搬送などの救護能力が向上した

### 【ツール】

- 27) アクションカードに導かれた

## Problem(問題点、不満)

### 【計画・運用】

- 1) 訓練に緊張感が無い
- 2) リーダーとしてのメンバーへの指示が難しい
- 3) 事前の訓練説明が不十分だった
- 4) 参加者が毎年変わるため、基本的な部分の繰り返しが必要
- 5) 評価者と訓練参加者の見分けがつかない
- 6) 反省点を踏まえて2回目の訓練を行いたかった
- 7) 傷病者役を採点する評価基準が難しい
- 8) 傷病者と救護者で意見交換ができれば良かった
- 9) 会場の場所が分かりにくい
- 10) 医療救護班の人数が多いと良い
- 11) 傷病者の人数を増やした方が良い
- 12) 誰も指示していないように思えた
- 13) 救護者の処置がわからず、任せて良いかわからない
- 14) 医師・看護師の数が少ない
- 15) 拘束時間が長い
- 16) 仮想の救護所なので現実味が少ない
- 17) 会場内に見学者や観察者が多く、動きづらい。声も聞こえなかった

### 【実施内容】

- 18) 担架搬送は人手と力が必要、難しかった
- 19) 情報が上がって来ず、情報管理ができなかった
- 20) 傷病者が多く、2人1組での対応が機能しなかった
- 21) 傷病者が多く、救護者が全ての要求に対応できなかった
- 22) 説明で理解しても訓練では上手く動けなかった
- 23) 無線による情報伝達の役割がおろそかになった
- 24) 傷病者の演技が難しい(年齢、性別、軽傷、痛みを我慢など)
- 25) 講習会ではなく、報告会だった
- 26) 情報不足、救護活動が忙しい
- 27) 医師の方々の誰に何を伝えれば良いか困った
- 28) 医師リーダーがトリアージのペアに加わると、トリアージが進まない
- 29) 常時観察する救護者がいてほしかった、急変した人は?
- 30) 傷病者の観察が不足した
- 31) 怪我の患部を見ない人が多い
- 32) どう対応するのが理想的なのか事前に知りたかった

### 【ツール】

- 33) 傷病者観察記録シートが活用できなかった
- 34) 傷病者観察記録カードが書ききれない
- 35) アクションカードを見る暇が無く、活用できなかった

## Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

### 【計画・運用】

- 1) 現場のリアリティを出す(P1)
- 2) 他の社員も訓練に参加させたい
- 3) 役割別の作業内容を確認できる訓練が必要
- 4) 事前講習を継続し、技量を維持・向上(K24)
- 5) 応急対応に関するリーダーの育成(P12)
- 6) 応急救護講習会に参加したか見分けがつくようにする(P13)
- 7) 事前説明の時点で情報の流れを説明する(P26)
- 8) ボランティアが集まる所から始めて、役割説明が行えるように、さらに実践的な訓練を目指す(P27)

### 【実施内容】

- 9) リーダーから誰が何の役割かを指示する(P2)
- 10) 担架の乗せ方、搬送を全員が経験すべき(P18)
- 11) フリーの医師を増やす(P14)
- 12) 各自が役割を死守する(P27)
- 13) 医師のリーダーを単独にする(P28)
- 14) 搬送先に救護者を3人以上常時待機とする(P29)
- 15) 救護のやり方を現地で教える人を作る(P30)

### 【ツール】

- 16) 画像や動画による事前レクチャー(P3)
- 17) 傷病者観察記録・情報連絡シートの使い方をあらかじめ周知する(P19)
- 18) 外傷治療に関する講習会を充実させる(P31)
- 19) 医療救護マニュアルの作成(P32)
- 20) 役割の内容・目的を事前に救護所のホワイトボードに記入しておく(アクションカードにも記しておく)(P35)
- 21) アクションカードを簡単な内容にする(P35)

### 【その他】

- 22) 訓練の見本・サンプルVTRが見たい(P32)
- 23) 訓練のための事前講習会の実施、参加(P32)



# 平成26年度新宿駅西口地域地震防災訓練 西口現地本部訓練の振り返り

## Keep(継続したいこと、良かったこと)

### 【計画・運用】

- 1) 事業者が集まったの運営
- 2) 複数の団体が集まる訓練に参加・経験できたこと
- 3) 区防災センター、区役所との連携

### 【実施内容】

- 4) 情報整理のむずかしさを実感した
- 5) ローカル情報の発信(情報が不足する可能性があるため)
- 6) 全く知らない方々と共同で作業してみて、意識が高まった

### 【ツール】

- 7) 新宿駅西口地域の課題を再確認できた
- 8) 情報ツールを用いて帰宅困難者の誘導、案内ができた
- 9) 地域被災状況の集約

## Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

### 【計画・運用】

- 1) リーダーは事前に決めておく
- 2) 本部長を育成する(P2)
- 3) ビル間で協力することのメリットを明確に出す(P3, P4)
- 4) よりシンプルなルールを定める(P10)
- 5) 定期的に訓練を実施(年2回以上を目標に)(K6)

### 【実施内容】

- 6) 情報の整理の仕方にルールを作る(P11)

### 【ツール】

- 7) 各オフィス、ビル間の通信手段を確立する(P12)
- 8) 掲示板のような一元化した情報整理表
- 9) ホワイトボードをカメラで撮影し、情報共有する(P15)
- 10) WEBGISをもっと見やすい形式にする(モニターを大きくなど)(P16)
- 11) 初めての人でも使えるツール、機材を用意する(P17)
- 12) 情報ツールの電源確保(P18)

### 【その他】

- 13) 区主導の地域の事業者への働きかけ(K3)
- 14) 活動の告知をはかり、地域への浸透を目指す

## Problem(問題点、不満)

### 【計画・運用】

- 1) 区の役割と現地本部の役割がわかりづらかった
- 2) 役割分担を実際はどう決めるのか?
- 3) 西口現地本部の参集の際、人が集まるか?
- 4) エリア内の各ビル間の情報共有ができない
- 5) 現地本部の設置場所が決まっていない

### 【実施内容】

- 6) 基本的な伝達、応答ができていなかった
- 7) 情報の正確性、重要性の判断が難しく、発信が難しい
- 8) 入手した情報について、どこまで対応すべきか難しい
- 9) 停電時はどう活動するのか
- 10) 現地本部の役割、全体像が見えにくかった
- 11) 情報の整理、優先順位づけが難しい

### 【ツール】

- 12) 防災無線を実践で使用できるかわからない
- 13) SNSと連携できるか事前に練習をしないと災害時に使えない
- 14) パソコンが使い慣れない
- 15) ホワイトボードに書いた情報を上手く活用できなかった
- 16) WEBGISが見づらい
- 17) 情報ツールの操作が難しい
- 18) 停電すると情報ツールが使えない

### 【その他】

- 19) 区主導の地域の事業者への働きかけ
- 20) 活動の告知をはかり、地域への浸透を目指す